

才気あふれるアジアの俊英 リオ・クオクマン登場!

チェコの息吹が香る
シュパチェクのドヴォルザーク

2018

6/15金

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, June 15, 2018 / 7:00PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

©DR

©Radovan Subin

京都市交響楽団

第624回 定期演奏会

The 624th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

開演前 (午後6時30分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上に開催します。

指揮 **リオ・クオクマン**

Conductor : LIO Kuokman

ヴァイオリン **ヨゼフ・シュパチェク**

Violin : Josef ŠPAČEK

ジェニファー・ヒグドン：ブルー・カセドラル (日本初演)

ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲イ短調op.53

チャイコフスキー：交響曲第6番ロ短調「悲愴」op.74

Jennifer Higdon : blue cathedral (Japan Premiere)

Dvořák : Concerto for violin and orchestra in A minor op.53

Tchaikovsky : Symphony No.6 in B minor "Pathétique" op.74

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆ 1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円 / 2018年6月8日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆ 10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード349-197
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード58092

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団 第624回定期演奏会

The 624th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

マカオ出身、名門フィラデルフィア管アジア常任指揮者として世界で活躍するリオ・クオクマンが、現代アメリカの人気作曲家ヒグドンの名作とチャイコフスキー最後の交響曲「悲愴」を聴かせます。チェコ・フィル史上最年少コンサートマスターでアソシエート・アーティストの称号を得た、チェコ生まれの若きヴァイオリニスト、ヨゼフ・シュパチェクによるチェコの精神が息づくドヴォルザークにも注目！

指揮

リオ・クオクマン

Conductor : LIO Kuokman



2015/16年シーズンまでフィラデルフィア管の副指揮者を務め、現在は同団のアジア常任指揮者。アメリカのプレスは、彼の「確実かつ優雅」で「美しいコントロールのセンス」を「衝撃的なまでに才気あふれる指揮者」と賞賛している。ジュリアード音楽院やカーティス音楽院、ニューイングランド音楽院で学び、サイモン・ラトルやマイケル・ティルソン・トーマス、ジェームズ・レヴァイン、アラン・ギルバートのマスタークラスにも参加。第1回シカゴ響・ショルティ国際コンクールでファイナリストに進み、2014年にフランスで行われたスヴェトラノフ国際コン

クールでは最高位、聴衆賞やオーケストラ賞も併せて受賞した。これまでフィラデルフィア管のほか、フランス国立放送フィル、デトロイト響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、デンマーク国立響、N響、都響、ソウル・フィル、香港フィル、マカオ管などを指揮し、ラ・フォル・ジュルネや、北京国際音楽祭などアジアの主要音楽祭にも参加している。オペラも得意で、2016年にはマリンスキー劇場にデビューし、その成功から2017/18年シーズンにも招聘されている。これまで《フィガロの結婚》《ドン・ジョヴァンニ》《カルメン》《愛の妙薬》《リゴレット》《トゥーランドット》などを指揮。ドニゼッティの《連隊の娘》の香港初演や、ヒンヤン・チャン作曲の室内オペラ《ハート・オブ・コーラル》と《Datong》の初演も行った。ピアニストとしても活躍しており、コンクールでの優勝歴のほかに、カメラータ・ザルツブルクや中国国立響などにソリストで招かれ、中国の江沢民元主席や胡锦涛元主席の前でピアノ協奏曲を披露している。室内楽にも熱心で、マカウ室内楽協会の創設メンバーでもあり、代表を務めている。

ヴァイオリン

ヨゼフ・シュパチェク

Violin : Josef ŠPAČEK



©Radovan Subin

1986年チェコで生まれたヨゼフ・シュパチェクは、同世代の中で最も卓越したヴァイオリン奏者として一気に頭角を現している。ニューヨークのジュリアード音楽院でイツァーク・パールマンに、フィラデルフィアのカーティス音楽院でイダ・カヴァリアンとハイメ・ラレードに、そしてプラハ音楽院にてヤロスラフ・フォルティーンに学ぶ。2008年カール・ニールセン国際ヴァイオリン・コンクール3位、12年エリザベート王妃国際コンクールのファイナリスト。2011年から15年12月まで、シュパチェクは名門チェコ・フィルハーモニー史上最も若いコンサートマスター

を務め、2016年1月、同管弦楽団はシュパチェクに「アソシエート・アーティスト」の称号を与えている。ソリストとして、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの一流オーケストラから招かれており、そこには、フィラデルフィア管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー、プラハ・フィルハーモニア、ルクセンブルク・フィル、エッセン・フィル、ロッテルダム・フィル、ドリノRAI管、上海響、メルボルン響、東京都響、マレーシア・フィル、クイーンズランド響等が含まれる。共演した指揮者も、ピエロフラヴェック、フルチャ、ゲルギエフ、エッセンバッハ、ホーネック、ビシュコフ、メルクル、インバルと言った名前が挙げられる。リサイタルや室内楽などの活動も活発で、その演奏は常に注目を集めている。2006年に最初のCDをリリースして以来、すでに4枚のCDを発表しており、最新版は2015年のピエロフラヴェック指揮チェコ・フィルによる、ドヴォルザーク、ヤナーチェクの協奏曲とスークのファンタジーのCDである。チェコ版フォーブス誌では14年の「最も影響力のある30歳未満の30人」に選ばれている。使用楽器は、1855年製のジャン・バッティスト・ヴィヨーム。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 4/13(金)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 5/19(土)から発売!

第625回定期演奏会

必聴!! 下野竜也のブルックナーNo.1
シューマン&尾高惇忠の知られざる傑作を求めて

日時: 2018年7月21日(土) 午後2時30分開演
2018年7月22日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 下野 竜也 (常任首席客演指揮者)

独奏: 野田 清隆 (ピアノ)

曲目: シューマン (野本洋介編曲): 「天使の主題による変奏曲」 からテーマ
尾高惇忠: ピアノ協奏曲
ブルックナー: 交響曲第1番ハ短調 WAB 101 (リンツ版・ハース版)

第626回定期演奏会

高関健、祈りの「戦争レクイエム」
鎮魂と反戦を歌うブリテンの集大成

日時: 2018年8月26日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 高関 健 (常任首席客演指揮者)

独唱: 木下 美穂子 (ソプラノ)

小原 啓楼 (テノール)

大西 宇宙 (バリトン)

合唱: 京響コーラス、京都市少年合唱団

曲目: ブリテン: 戦争レクイエム op.66

助成: 公益財団法人アフィニス文化財団  Affinis emblem
「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500